

会社概要

(2018年6月20日現在)

社名 太洋工業株式会社
 設立 1960年12月
 代表者 代表取締役社長 細江 美則
 資本金 800,757,000円
 従業員 263名(連結ベース)
 関連グループ 株式会社ミラック
 会社 TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO.,LTD.
 マイクロエンジニアリング株式会社
 太友(上海)貿易有限公司

役員

(2018年6月20日現在)

代表取締役社長 細江 美則
 取締役 坂田 吉啓
 取締役 堀井 健司
 取締役 上西 令子
 常勤監査役 崎前 和夫
 監査役 山口 修
 監査役 和中 修二
 執行役員 清原 旭
 執行役員 高垣 宏
 執行役員 田中 清孝
 執行役員 水谷 浩

株主のみなさまへ

第58期 株主通信

2017年12月21日 > 2018年6月20日

第2四半期

株式の概要

株式の状況

(2018年6月20日現在)

発行可能株式総数 ----- 23,280,000株
 発行済株式の総数 ----- 5,872,000株
 株主数 ----- 2,056名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	27.2
細江 美則	615	10.5
細江 正大	480	8.2
紀陽興産株式会社	390	6.6
株式会社紀陽銀行	290	4.9
太洋工業従業員持株会	268	4.6
小川 由晃	117	2.0
旭東電気株式会社	102	1.8
株式会社SBI証券	61	1.1
七座 恵津子	60	1.0

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第二位を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度 毎年12月21日から翌年12月20日まで
 期末配当金受領株主確定日 毎年12月20日
 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月20日
 定時株主総会 毎年 3月20日まで
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL(0120)094-777(通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
 (証券コード6663)
 公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL
<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地
 TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469



証券コード：6663

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は電子基板事業及び基板検査機事業が計画どおり進捗したことから、前年同四半期に比べ増収となりました。損益は原価低減による売上総利益率上昇の影響等から、黒字転換いたしました。通期の業績予想につきましては、引き続き原価低減や生産性向上など徹底したコストの最小化は図るものの、売上高計画の達成見込み状況等が現時点では不透明であることから、当初予想は据え置くことといたしました。

第3四半期以降、電子基板事業につきましては、低反発FPC等の次世代技術力を追求・アピールしていくことで、新規顧客開拓を推進し高い収益性が見込める高難度製品の受注体制の充実・強化に注力してまいります。また、基板検査機事業につきましては、多様化する顧客ニーズに応えた競争力のある製品ラインアップの拡充を図り、消耗品である治具の販売ビジネスとのシナジー効果を最大化することで、更なる受注の獲得を目指してまいります。

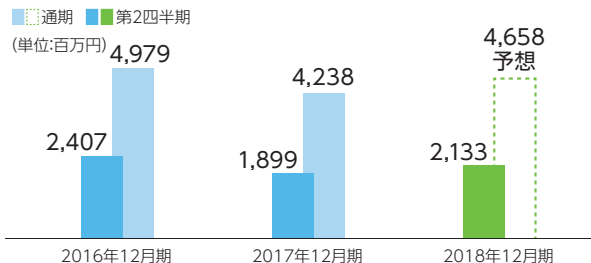
株主の皆様には、今後とも当社グループの事業活動にご期待いただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

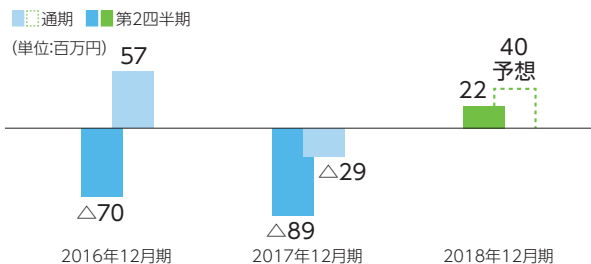
高田 美則



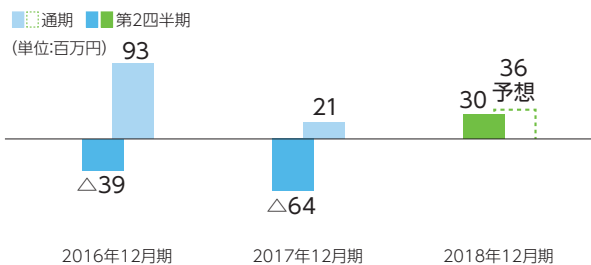
売上高



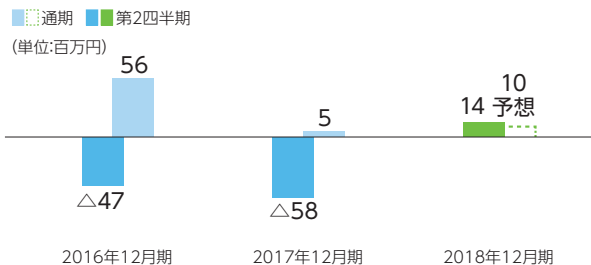
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2018年12月期 第2四半期業績のポイント

Point 1

売上高は前年同四半期比12.3%増となりました。

- 基板検査機事業における、FPCを対象とした通電検査機及び外観検査機の販売が増加

Point 2

損益は黒字転換となりました。

- 電子基板事業における、売上総利益率の上昇
- 基板検査機事業における、増収効果

TOPICS

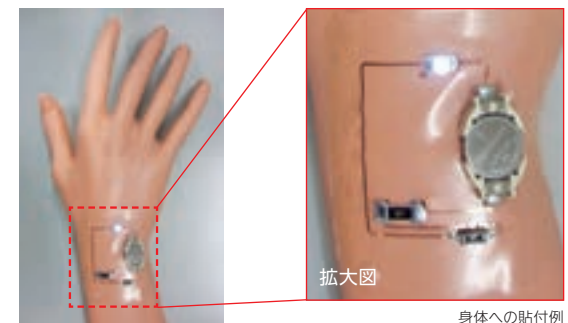
低反発FPCを開発—差別化で新市場を開拓—

電子基板事業において、熱硬化性の弾性フィルム上に電子回路を形成した低反発FPCを開発いたしました。

市場が急速に拡大しつつあるウェアラブル電子機器の他、医療、ロボティクスなど幅広い分野での需要が期待されます。

柔軟性・伸縮性に富み、反発性が低いことが最大の特徴であり、身体等へ貼付して使用する生体情報取得用ウェアラブル電子機器への採用を期待しております。

今後も独自開発品や高難度品等の差別化製品による新市場開拓に注力してまいります。



身体への貼付例